

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 8日

秋田県知事 殿

提出者

住 所 鹿角郡小坂町小坂字台作1－2

氏 名 有限会社 ポークランド

代表取締役 豊下 勝彦

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0186-29-4000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 ポークランド
事業場の所在地	鹿角郡小坂町小坂字台作1－2
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	家畜糞尿(豚糞)
② 事業の規模	肉豚出荷頭数 34,840頭（2022年度実績）
③ 従業員数	95名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	豚舎 → 糞 → 堆肥発酵処理施設 ↓ 堆肥 → 再利用販売 処理の流れ 委託処理の範囲

（日本工業規格 A列4番） 5, 6, 12

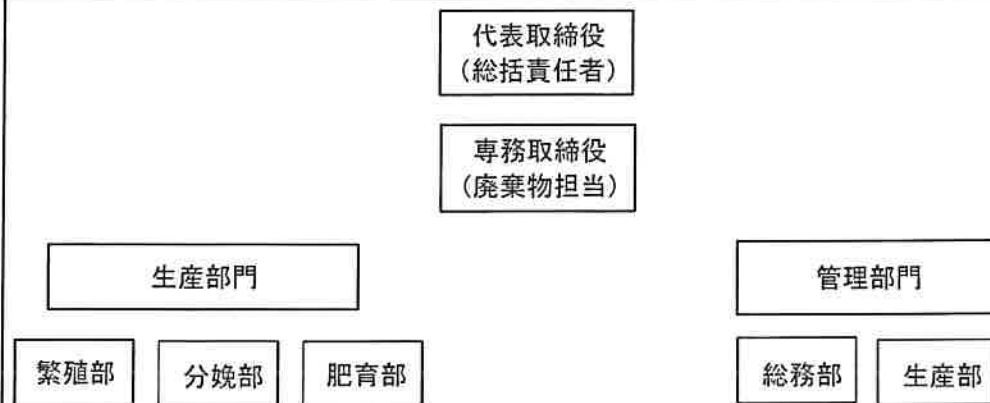
C・70－

第 号

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿(豚糞)	
	排出量	8,545.0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・廃棄物の処理について次に掲げる事項を実施する。 発生抑制 ・農場内リサイクルを推進する。 ・発生抑制を考慮した生産方法を検討する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿(豚糞)	
	排出量	8,300 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・廃棄物の処理について次に掲げる事項を実施する。 発生抑制 ・農場内リサイクルを推進する。 ・発生抑制を考慮した生産方法を検討する。 再生利用 ・資源化、燃料利用を検討する。 ・再生利用ルートを確認する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿(豚糞)	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組)		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	家畜糞尿(豚糞)	
		全処理委託量	8545.0 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜糞尿(豚糞)	
	全 処 理 委 託 量	8,300 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			